

令和3年11月8日

報道機関各位

勝山市立勝山中部中学校
校長 道関 直哉

「野向町エゴマ特産化事業」参画に向け、収穫体験をします。

1 (概要)

本校1年生は、持続発展教育(ESD)の一環として、総合的な学習の時間を活用して、校区の小学校がふるさと教育として取り組んでいる活動を共有し、継続する活動に取り組んでいます。

今回は野向地区が進めている「エゴマ特産化事業」への参画をめざして学級ごとに収穫したエゴマの選別作業に取り組みます。

2 (活動の魅力)

勝山中部中学校は、ふるさと教育を中心とした持続発展教育(ESD)に取り組んでいます。今年は「勝山宝物発見プロジェクト」と題して、勝山の魅力を学び発信する活動に取り組んでいます。

1年生は1学期の「村岡山公園化プロジェクト」への参画につづいて、「NPO法人まちづくりのむきの会」の協力を得て、野向地区の「エゴマ特産化事業」について学び、地域おこしに取り組む人びとの努力を知り、どのように自分達のアイデアを生かして参画できるかを考えます。このために実際に現地に出向き、収穫したエゴマの脱穀や選別作業を体験します。

つきましては、下記の通り農業体験を行いますので、取材いただきますようお願いいたします。

記

- 日時 令和3年11月10日(水) 13:20 学校発
13:35頃 開始式
- 場所 のむき風の郷 福井県勝山市野向町龍谷 2-21
電話:0779-64-5810
- 参加 勝山中部中学校1年1組 31名
(1年2組は11月12日(金)同時刻に実施)
- 内容 収穫したエゴマの脱穀や選別
- 講師 NPO法人まちづくりのむきの会 代表 西出健一氏

担当者:栗田・有島(教頭)

電話:0779-88-2040

メール:tyubutyu@edu.city.katsuyama.fukui.jpブログ:<http://katsuyamachubu.mitelog.jp/>
